

## 「ふじのくに農芸品フェア」の開催

日本一高い富士山や日本一深い駿河湾など多様な風土と自然に恵まれた本県では多彩で高品質な農林水産物が生産、採捕されており、それらを紹介する「ふじのくに農芸品フェア」が2月23、24日にグランシップで開催されました。

漁業士会では県内の底引き網や刺網などで漁獲されるサメやウツボなど、食用にはなるけれどもほとんど流通されていない50種類以上の魚介類を展示し、見学者は始めて見るという不思議な感動とともに本県で水揚げされる魚介類の種類の多さを実感しているようでした。また、販売ブースでは漁業士会からアユの塩焼きやシラスとアオノリの味噌汁が、由比港青年部からサクラエビの沖漬けが、浜名っ娘クラブからツメタガイの佃煮が販売され、好調な売れ行きでした。

このフェアでは漁業以外の農林業者や関係団体などが自慢の生産物や加工品を持ち寄り、展示や試食、販売などをとおして、県内の農林水産物の魅力をあらためて来場者に伝えていたものと思います。



写真1 展示されたサメやウツボなど



写真2 販売ブース

(平井一行)